



日本技術士会 北陸本部富山県支部
第32回 2020年新春講演会
令和2年2月1日(土)

抜粋

建設分野におけるデザインコンペ制度 の現状と課題

富山大学大学院 学術研究部 (都市デザイン学系)
/都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科

教授 久保田 善明

Competition ?

com- : 共に

pet-, petit : 追い求める

appetite : 食欲 (ad- : に向かって、pet-追い求める)
repeat : 繰り返す (re- : 再び、pet-追い求める)

contest : 競技 (con-共に、test-証言する)
concours : コンクール (con-共に、cours-走る)
compose : 構成する (com- : 共に、pose-置く)
compare : 比較する (com- : 共に、par-同等な)

Design ?

de- : ~から外へ

sign-, signare : 記号、印をつける

detail : 詳細 (de- : 離れる、tail : 切る)

assign : 割り当てる (ad- : に向かって、sign-印をつける)
signal : 信号、合図

土木学会 委員会活動

建設マネジメント委員会
公共デザインコンペティション研究小委員会 (委員長)

- ▶ デザインコンペをするような 特殊なプロジェクト を対象
(土木全般 : 橋梁、街路、河川、公園、広場、ストリートファニチャー、サイン等)

構造工学委員会
橋梁予備設計の適正化に関する研究小委員会 (委員長)

- ▶ 標準的な橋梁プロジェクト
(道路計画 → 橋梁予備設計 → 橋梁詳細設計 → 施工 → 維持管理)

なぜコンペが必要か？

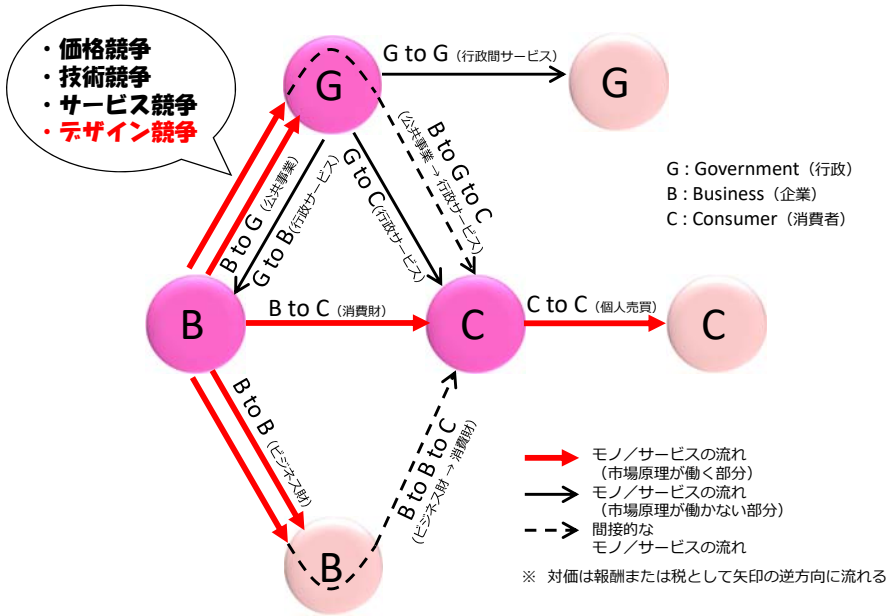
競うからこそ、上達する。

上質なものが上質な文化をつくる。

<現代社会の価値取引>

	(競争性)
B to C (企業→消費者)	あり
B to B (企業→企業)	あり
B to B to C (企業→企業→消費者)	あり
B to G (企業→行政)	あり
G to C (行政→市民)	通常なし

現代社会の価値取引



公共デザインコンペの歴史

<近代以前>

古代ギリシア
前5世紀

アクロポリス (アテネ)

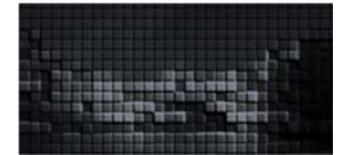


⋮

ルネサンス
14~16世紀

リアルト橋 (ベネチア)

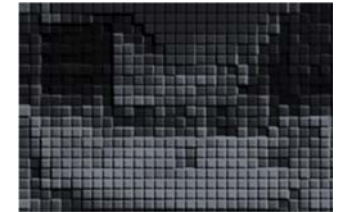
(設計) アントニオ・ダ・ポンテ
(応募) アンドレア・パッラーディオ
ミケランジェロ



⋮

スペイン広場 (ローマ)

18c
(設計) フランチェスコ・ディ・サンクティス



公共デザインコンペの歴史

<近代以降>

1864年

クリフトン吊橋 (英)
(設計) イザムバード・キングダム・ブルネル



1877年

マリア・ピア橋 (ポルトガル)
(設計) ギュスターヴ・エッフェル



1930年

サルギナ・トーベル橋 (スイス)
(設計) ロベール・マイヤール

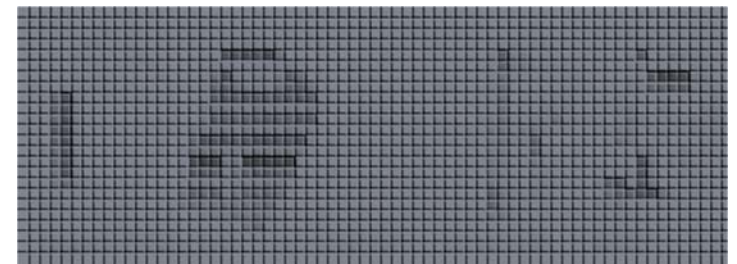


公共デザインコンペの歴史

<近代以降>

1864年

ラ・ヴィレット公園 (仏)
(設計) ベルナール・チュミ



公共デザインコンペの歴史

<近代以降>

1924年 (T13) 大江橋・淀屋橋 (大阪)
(コンペ開催)
 1935年 (S10) (重要文化財)
(竣工) (設計) 大谷龍雄



設計要件

- ・ 付近の建築や背景と調和するとともに、両橋間の道路意匠も併せて取扱うこと。
- ・ 既設橋は撤去し、新橋を架けるものとし、所要寸法は別添略図に従うこと。
- ・ 中央に複線電気軌道を敷設し、歩車道の区別を設け、電車柱は側柱式とすること。
- ・ 主要構造材料は、鉄筋コンクリートまたは鋼材とすること。
- ・ 舗装は、車道部は木煉瓦、歩道部はコンクリート板石または花崗岩とすること。
- ・ 電車用側柱は、装飾物として取扱うこと。

提出書類

側面図、平面図、断面図、主要部詳細図、2橋連続側面図・平面図、背景図、仕様概要

賞金 1等：1,000円 (約400万円)
 2等：500円 (約200万円)
 3等：300円 (約120万円)
 選外佳作：100円 (約40万円)

公共デザインコンペの歴史

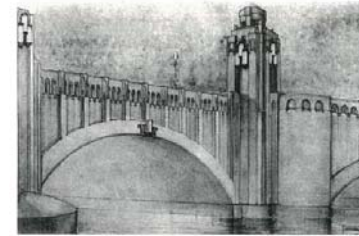


図-1 1等当選図案 配景図

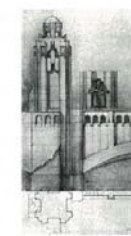


図-2 1等当選図案 主要部詳細図

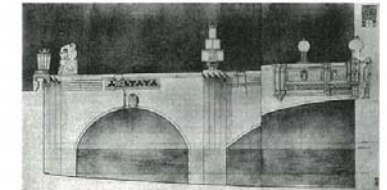


図-3 選外佳作第1席 主要部詳細図



図-4 選外佳作第5席 配景図

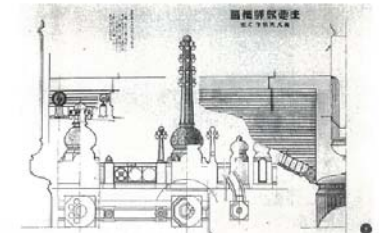
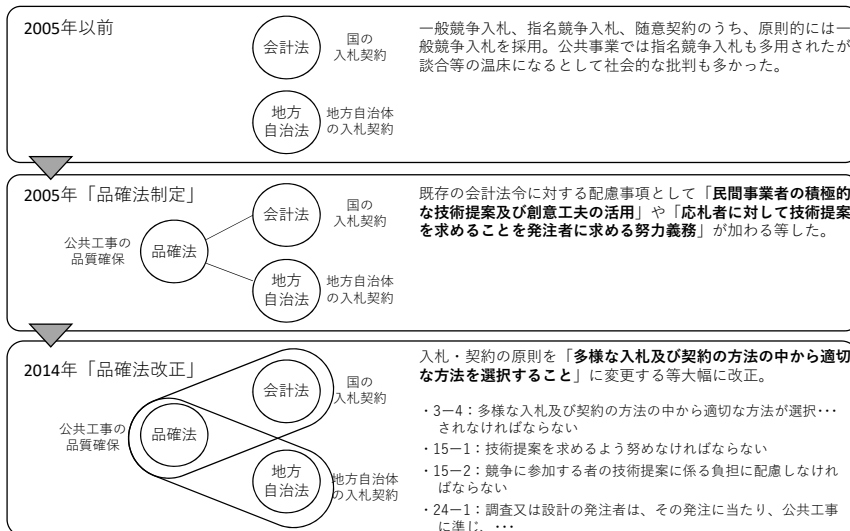


図-5 選外佳作第3席 主要部詳細図

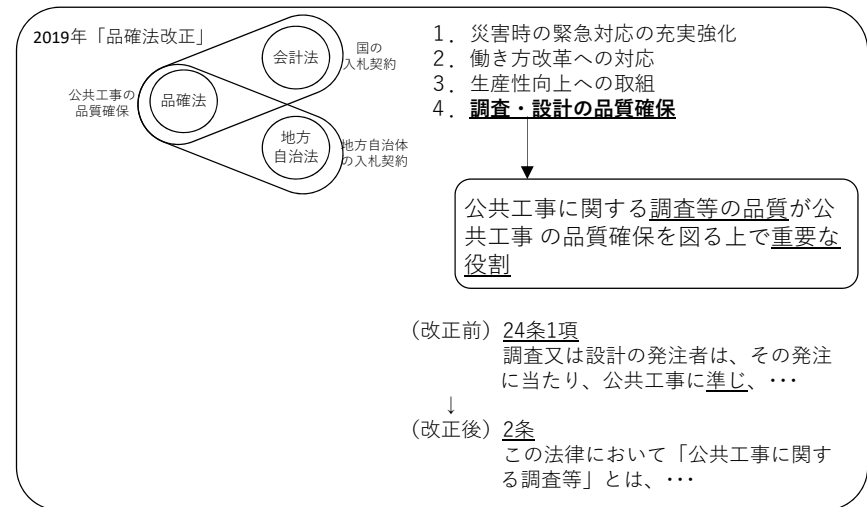
北河大次郎：試行錯誤の時代 歴史が求める橋梁デザインコンペ、橋梁と基礎、2007.8

制度的には？



国や地方公共団体が設計競技方式で発注を行うことは、効率的・効果的に優れた施設を整備する上で、設計競技方式が他の入札契約方式よりも勝ると判断される限りにおいて、法令上全く問題がない。

制度的には？



コンペとプロポの違い

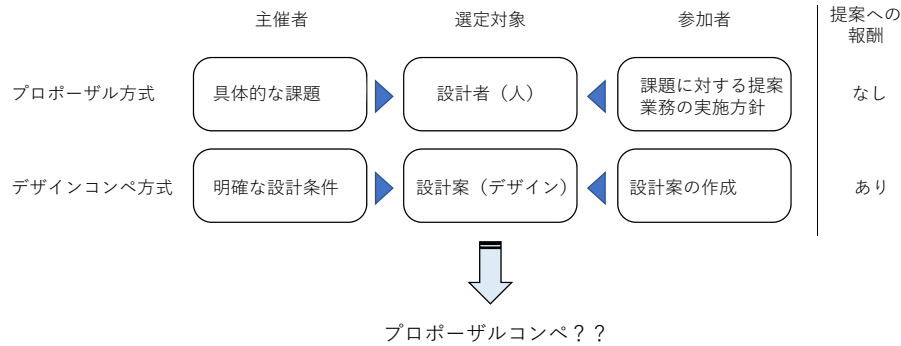
設計業者の選定方法

- ・ 価格競争（一般競争、指名競争）
- ・ 総合評価落札方式
- ・ **プロポーザル方式（設計者を選んで契約）**
- +
- ・ **設計競技方式（デザインを選んだ上で提案者と契約）**

< 会計法 >

競争入札

随意契約
(競争性のある随意契約)



ガイドライン

『土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集』土木学会, 2018 土木学会 建設マネジメント委員会

- ・ A4版、約280ページ（カラー図絵・提案資料例 含む）
- ・ 定価3,240円（税込）



- ・ 文化的に質の高い都市環境の創造
- ・ 市民との合意形成ツール
- ・ 海外先進国ではあたりまえ

土木学会 建設マネジメント委員会
「公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会」

委員長	久保田 善明	富山大学
副々(2015.8~)	安田 吾郎	国・東北地整(前)副局長
副々(~2015.7)	五道 仁実	国・大臣官房 技術審議官
	手塚 寛之	国・大臣官房 技術調査課
	柿崎 恒美	国・〃 (~2016.3)
	吉岡 大藏	国・〃 (~2017.6)
	山本 悟司	国・関東地整 道路部長 (~2015.3)
	北河 大次郎	文化庁
	小澤 一雅	東京大学
	佐々木 葉	早稲田大学
	関 文夫	日本大学
	山口 敬太	京都大学

自治体 横浜市、群馬県、大阪府、大阪市
企業 建技、オリエンタルコンサルタンツ、大日本コンサルタント、GK設計、総合調査設計、プランニングネットワーク、LPD、中島龍興照明事務所



「Guidelines for Design Competition for Bridges」
IABSE（国際構造工学会）2013

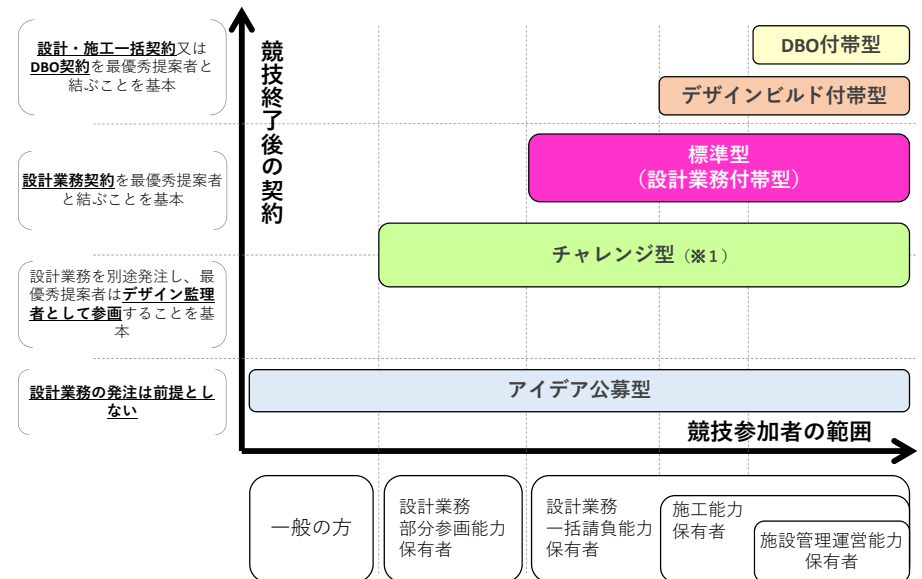
(建築物以外の全分野を網羅)



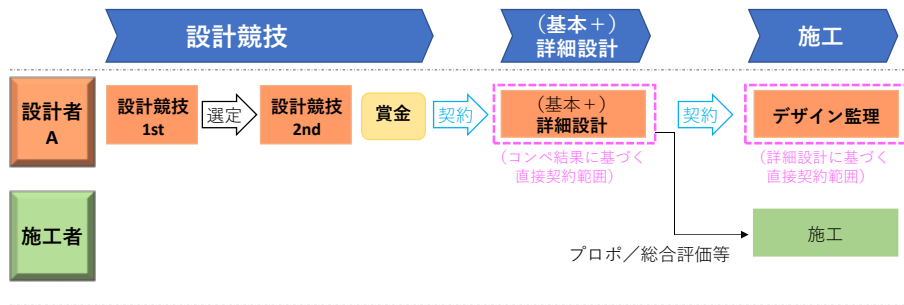
「土木設計競技ガイドライン・同解説+資料集」
土木学会 建設マネジメント委員会 2018

〔全国9都市で巡回セミナー開催
後援：国土交通省〕

コンペの種類



コンペのプロセス



設計競技の6つの原則

- ・公共価値原則
- ・公平性原則
- ・透明性原則
- ・目利きによる審査の原則
- ・継続性原則
- ・誘因両立性原則

デザインコンペのメリットとデメリット

<メリット>

- ・標準的プロセスでは得られない斬新（≠奇抜）なデザインが得られる。（技術的・制度的ブレークスルーも）。
- ・統一的で一貫したプロジェクトにしやすい。（継続性の確保が必要）
- ・市民の関心を集めやすい。（公開プレゼンでプロセスを見える化）
- ・技術力&デザイン力の向上。
- ・適切なプロセスで実施すれば確実にうまくいく（ガイドライン）。

<デメリット>

- ・競争入札に比べて発注者の手続きに労力と時間がかかる。
- ・応募者側の負担が大きい。（賞金・報酬の必要性）
- ・適切なプロセスで実施しないとトラブルや不具合を生む可能性がある。
- ・適切に準備をしないとコスト管理を失敗する可能性がある。

公共デザインコンペの今後の課題

- ・優れた景観づくりは地方創生・地域創生の基本。
- ・公共調達の仕組みに「設計競技」を明確に位置づける必要がある。
- ・提案資料作成の負担に配慮（デザイン提案まで無償なのは良くない。品確法を順守！）
- ・高いデザイン力をもつ建設コンサルタントが少ない？
- ・最後は発注者（国、自治体）のやる気の問題。